

広報資料

2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権シリーズ

MEDIA INFORMATION

2018年3月10日

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

**朝日**
人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ J SPORTS

目次

■ ご挨拶	P3
■ 2018シリーズのご案内	P4-5
■ SF14主要諸元	P6
■ 2018エントリーリスト	P7
■ ドライバープロフィール	P8-18
■ プロモーション施策	P19
■ TV放送	P20
■ 映像配信／海外配信・放送／インターネット SNS	P21
■ プロモーションサポーター陣	P22-24
■ 社会貢献活動	P25
■ ABOUT SUPER FORMULA(スーパーフォーミュラの変遷)	P26-27
■ シリーズパートナー／シリーズサポーター／プロモーションパートナー	P28



Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

DAI NIPPON ICHIBI
DAI NIPPON ICHIBI
日本酒造

Broadcasting Partner

BSフジ **J SPORTS**

平素より全日本スーパーフォーミュラ選手権にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

先日、ホンダ、トヨタ両陣営の今シーズンの参戦体制が発表され、世界を目指す有カルーキーの参加、および日本を含む複数の国から実力あるドライバー達の参戦が明らかになり、強豪同士がしのぎを削る激しいレース展開が期待されます。

そして、一昨年は1戦、昨年は2戦で投入され、チーム戦略の多様性をもたらすことで、エキサイティングなレース展開に大きく寄与した横浜ゴムの2スペックタイヤは、今年は全7戦で導入されます。こちらもご注目頂きたい大きなポイントです。

さらに、昨シーズンから始まった無料全国放送のBSフジでの決勝レース中継は、その内容をよりグレードアップし、レースの醍醐味をリアルにお届けすることで、新たなファンにアピールして参ります。またBSフジの「スーパーフォーミュラGO ON！」も大会開催前の土曜23時の放送を今シーズンも継続、大会告知も含め、全国のファンにレースの面白さを多面的にお伝えして参ります。

また、来シーズン投入される新車両「SF19」は、今年7月いよいよシェイクダウンを迎えます。来年1月のデリバリーに向け現在着々と準備を重ねております。また、今年はクイック&ライトでこれまで多くの名レースを体現してきた現行車両「SF14」のラストランの年でもあります。こちらも是非ご注目頂きたいところです。

この他、動画コンテンツの量・質の充実、SNSの積極的活用、海外配信・放送の拡充など、様々なプロモーションを展開して参りますので、今後とも皆様のご協力、ご取材を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

平成30年3月10日

株式会社日本レースプロモーション

代表取締役社長 倉下 明

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
◎日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

ASAHI BEER
人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ **J SPORTS**

2018シリーズのご案内

■大会開催スケジュール

ラウンド	サーキット	日程
第1戦	鈴鹿サーキット	4月21日(土)~22日(日)
第2戦	オートポリス	5月12日(土)~13日(日)
第3戦	スポーツランドSUGO	5月26日(土)~27日(日)
第4戦	富士スピードウェイ	7月7日(土)~8日(日)
第5戦	ツインリンクもてぎ	8月18日(土)~19日(日)
第6戦	岡山国際サーキット	9月8日(土)~9日(日)
第7戦	鈴鹿サーキット	10月27日(土)~28日(日)

※第7戦は「第17回JAF鈴鹿グランプリ」として開催されます。

■公式合同テストスケジュール

	サーキット	日程
第1回	鈴鹿サーキット	3月12日(月)~3月13日(火)
第2回	富士スピードウェイ	3月28日(水)~3月29日(木)

■大会開催サーキット

鈴鹿サーキット コース全長:5.807km

第1戦:4月21日(土)・22日(日) / 第7戦:10月27日(土)・28日(日)
 所在地: 〒510-0295 三重県鈴鹿市稻生町7992
 問い合わせ先: 鈴鹿サーキット TEL 059-378-1111(代表)
 URL: www.suzukacircuit.jp

オートポリス コース全長:4.674km

第2戦:5月12日(土)・13日(日)
 所在地: 〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田1112-8
 問い合わせ先: オートポリス TEL 0973-55-1111(代表)
 URL: www.autopolis.jp

スポーツランドSUGO コース全長:3.704km

第3戦:5月26日(土)・27日(日)
 所在地: 〒989-1301 宮城県柴田郡村田町菅生6-1
 問い合わせ先: スポーツランドSUGO TEL 0224-83-3111(代表)
 URL: www.sportsland-sugo.co.jp

富士スピードウェイ コース全長:4.563km

第4戦:7月7日(土)・8日(日)
 所在地: 〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向694
 問い合わせ先: 富士スピードウェイ本社 TEL 0550-78-1234(代表)
 富士スピードウェイ東京営業所 TEL 03-3556-8511(代表)
 URL: www.fsw.tv

ツインリンクもてぎ コース全長:4.801km

第5戦:8月18日(土)・19日(日)
 所在地: 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1
 問い合わせ先: ツインリンクもてぎ TEL 0285-64-0001(代表)
 URL: www.twinring.jp

岡山国際サーキット コース全長:3.703km

第6戦:9月8日(土)・9日(日)
 所在地: 〒701-2612 岡山県美作市滝宮1210番地
 問い合わせ先: 岡山国際サーキット TEL 0868-74-3311(代表)
 URL: www.okayama-international-circuit.jp

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
◎日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

DAI NIPPON BREWERY
DAI NIPPON 人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ **J SPORTS**

2018シリーズのご案内

■大会開催概要

	開催日	開催地	予選方式	決勝レース	チケット販売詳細	備考
Rd.1	4/21(土)~22(日)	三重県 鈴鹿サーキット	ノックアウト	300km	2/18(日)	・全日本フォーミュラ3選手権第1戦・第2戦併催 ・MFJ全日本ロードレース選手権(JSB1000)併催 ・Enjoy Honda併催※1
Rd.2	5/12(土)~13(日)	大分県 オートポリス	ノックアウト	250km	3/11(日)	・MFJ全日本ロードレース選手権(JSB1000)併催
Rd.3	5/26(土)~27(日)	宮城県 スポーツランドSUGO	ノックアウト	250km	3/24(土)	・全日本フォーミュラ3選手権第3戦・第4戦併催 ・Enjoy Honda併催※1
Rd.4	7/ 7(土)~ 8(日)	静岡県 富士スピードウェイ	ノックアウト	250km	5/10(木)	・全日本フォーミュラ3選手権第5戦・第6戦併催 ・Enjoy Honda併催※1
Rd.5	8/18(土)~19(日)	栃木県 ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250km	6/23(土)	・全日本フォーミュラ3選手権第10戦・第11戦・第12戦併催 ・MFJ全日本ロードレース選手権(JSB1000)併催 ・Enjoy Honda併催※1
Rd.6	9/ 8(土)~ 9(日)	岡山県 岡山国際サーキット	ノックアウト	未定	8/8(水)予定	・全日本フォーミュラ3選手権第13戦・第14戦併催 ・Enjoy Honda併催※1
Rd.7	10/27(土)~28(日)	三重県 鈴鹿サーキット	ノックアウト	300km※2	9/2(日)	・FIA ワールド・ツーリングカーカップ (WTCR)同日開催

※1 Enjoy Hondaとは、ホンダ主催の「見て」「遊んで」「体感できる」家族みんなで楽しむイベントです。

※2 レース距離は暫定。

■シリーズポイントシステム

	ポール ポジション	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下
1大会1レース	1	10	8	6	5	4	3	2	1	0

※ 最終戦鈴鹿大会に限り、レースの勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。

※ 最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチームが同一のポイントを得た場合、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

●ルーキー・オブ・ザ・イヤー:当該年度初参戦となるルーキードライバーが3名以上存在する場合、その中で年間獲得ポイント最上位の選手に贈られる。

●チームポイント:各チーム(エントラント)に所属するドライバーの獲得ポイントを合計。

同一チーム(エントラント)に2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分が得点対象となる。

チームポイントには、ポールポジションのポイントは与えられない。

■シリーズ賞典

各レースでの入賞成績に応じて与えられるポイントの合算により、シリーズチャンピオンが決定。ドライバーとチームの2部門に全日本スーパーフォーミュラ選手権のタイトルが懸けられチャンピオン獲得者には下記の賞典が授与される。

●年間チャンピオンチーム

・経済産業大臣杯

●年間チャンピオンドライバー

・ドライバーズチャンピオンカップ

・観光庁長官杯

・自由民主党モータースポーツ振興議員連盟杯

●ルーキー・オブ・ザ・イヤー

・トロフィー

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

DAIICHI
人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ **J SPORTS**

SF14 主要諸元

■ シャシー

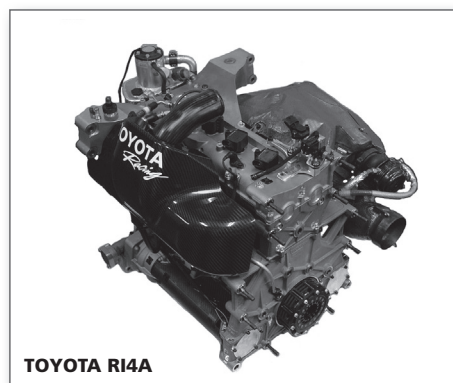
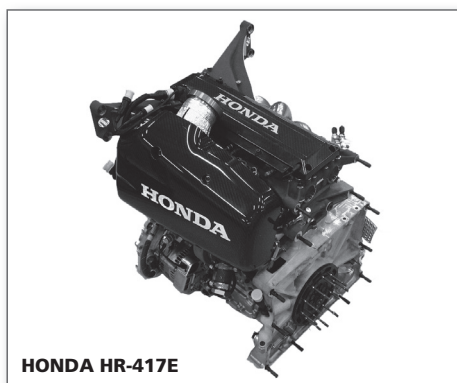
製作	ダラーラ・オートモービル(イタリア)
全長	5,268mm
ホイールベース	3,165mm
全幅	1,910mm
全高	960mm
最低重量	660kg(ドライバー乗車時)
ギアボックス	リカルド 前進6速、パドルシステム
ブレーキ	ブレンボ キャリパー、ブレンボ カーボン製ディスク
ステアリングシステム	KYB 電動パワーステアリングシステム
フロントサスペンション形式	プッシュロッド トーションバースプリング
リアサスペンション形式	プッシュロッド
安全基準	FIA 2010 F1規定に基づく

■ エンジン

メーカー/型式	本田技研工業株式会社製/HR-417E トヨタ自動車株式会社製/RI4A
排気量	2,000cc
仕様	直列4気筒、ダイレクトインジェクション
過給器	ターボチャージャー(ギャレット製)
最低重量	85kg
出力	405kw(550ps)以上
出力制限方法	燃料リストラクターによる燃料流量制限

■ タイヤ

メーカー	横浜ゴム株式会社製
サイズ	フロント:250/620/R13 リア:360/620/R13



Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
◎日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

三井物産
三井人気が酒造

Broadcasting Partner

BSフジ J SPORTS

2018年エントリーリスト

2018年3月10日現在

Car No.	ドライバー名	生年月日	出身地	チーム名 (読み)	監督	エンジン
1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981/ 4/23	日本/東京都	P.MU/CERUMO・INGING (ピーエムユーセルモインギング)	立川 祐路	TOYOTA R14A
2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990/ 9/12	日本/神奈川県			
3	ニック・キャンディ Nick Cassidy	1994/ 8/19	ニュージーランド	KONDO RACING (コンドーレーシング)	近藤 真彦	TOYOTA R14A
4	山下 健太 Kenta Yamashita	1995/ 8/ 3	日本/千葉県			
5	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989/ 9/15	日本/茨城県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモチームダンディライアンレーシング)	村岡 潔	HONDA HR-417E
6	松下 信治 Nobuharu Matsushita	1993/10/13	日本/埼玉県			
7	TBA			UOMO SUNOCO TEAM LEMANS (ウオモ スノコ チーム ルマン)	片岡 龍也	TOYOTA R14A
8	大嶋 和也 Kazuya Oshima	1987/ 4/30	日本/群馬県			
15	福住 仁嶺 Nirei Fukuzumi	1997/ 1/24	日本/徳島県	TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)	手塚 長孝	HONDA HR-417E
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988/ 7/11	日本/栃木県			
17	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986/11/20	日本/栃木県	REAL RACING (リアルレーシング)	金石 勝智	HONDA HR-417E
18	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986/ 9/13	日本/兵庫県	carrozzeria Team KCMG (カロツツェリア チーム ケーシーエムジー)	土居 隆二	TOYOTA R14A
19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	1987/12/29	日本/東京都	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウエネクス チーム インパル)	星野 一義	TOYOTA R14A
20	平川 亮 Ryo Hirakawa	1994/ 3/ 7	日本/広島県			
36	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985/ 1/11	日本/愛知県	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	舘 信秀	TOYOTA R14A
37	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983/ 8/25	イギリス			
50	TBA			B-Max Racing team (ビーマックス・レーシング・チーム)	本山 哲	HONDA HR-417E
64	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	1977/ 1/14	インド	TCS NAKAJIMA RACING (ティーシーエス・ナカジマレーシング)	中嶋 悟	HONDA HR-417E
65	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984/ 6/ 1	日本/東京都			

ホンダエンジン使用チーム:5チーム8台
トヨタエンジン使用チーム:6チーム11台

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

ASAHI BEER
朝日 人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ **J SPORTS**

ドライバープロフィール ①

1 石浦 宏明
Hiroaki Ishiura

P.MU/CERUMO・INGING

生年月日 1981年4月23日
出身地 東京都



主な経歴

- | | |
|---|---|
| <p>2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ チャンピオン
日本プロスポーツ大賞功労賞獲得
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 4位</p> <p>2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 5位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 6位</p> <p>2015 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ チャンピオン
日本プロスポーツ大賞功労賞獲得
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 4位
ニュルブルクリンク24時間レース クラス優勝
インタープロトシリーズ3位</p> | <p>2014 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 5位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 13位
ニュルブルクリンク24時間レース クラス優勝</p> <p>2013 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 7位
ニュルブルクリンク24時間レース クラス 2位</p> <p>2012 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 3位
ニュルブルクリンク24時間レース クラス優勝</p> <p>2011 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 6位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 7位
ニュルブルクリンク24時間レース クラス 3位</p> |
|---|---|

2 国本 雄資
Yuji Kunimoto

P.MU/CERUMO・INGING

生年月日 1990年9月12日
出身地 神奈川県



主な経歴

- | | |
|---|--|
| <p>2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 8位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 14位</p> <p>2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズチャンピオン
日本プロスポーツ大賞功労賞獲得
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 4位</p> <p>2015 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 9位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 9位</p> <p>2014 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 7位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 7位</p> <p>2013 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 10位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 5位</p> | <p>2012 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 13位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 13位</p> <p>2011 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 10位
SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 7位</p> <p>2010 全日本F3選手権 Cクラス シリーズ チャンピオン
SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 5位</p> <p>2009 全日本F3選手権 Cクラス シリーズ 3位
SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 10位</p> <p>2008 フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ チャンピオン</p> <p>2007 フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ 4位
フォーミュラトヨタ シリーズ 10位</p> |
|---|--|

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

ASAHI BEER
朝野 人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ J SPORTS

ドライバープロフィール ②

3 ニック・キャシディ
Nick Cassidy

KONDO RACING

生年月日 1994年8月19日
出身地 ニュージーランド



主な経歴

- | | | | |
|------|---|------|---|
| 2017 | 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 10位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ チャンピオン | 2010 | New Zealand Formula Ford シリーズ 2位 (新人賞獲得) |
| 2016 | SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 5位
FIA F3 European Championship シリーズ 4位 | 2009 | New Zealand Formula First シリーズ 2位 (新人賞獲得) |
| 2015 | 全日本F3選手権 シリーズ チャンピオン
F3マカオGP 12位 | 2008 | New Zealand Formula First Winter Series シリーズ チャンピオン |
| 2014 | Eurocup Formula Renault 2.0 & FIA F3 European Championship 部分参戦
F3マカオGP 3位 | | |
| 2013 | Toyota Racing Series シリーズ チャンピオン | | |
| 2012 | Toyota Racing Series シリーズ チャンピオン | | |

4 山下 健太
Kenta Yamashita

KONDO RACING

生年月日 1995年8月3日
出身地 千葉県



主な経歴

- | | | | |
|------|---|------|--|
| 2017 | 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 11位
SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 5位 | 2011 | 全日本カート選手権 (S-KF) シリーズ 4位 |
| 2016 | 全日本F3選手権シリーズ チャンピオン
F3マカオGP 4位 | 2010 | OpenMastersKart (ARTAチャレンジ) シリーズ 2位 |
| 2015 | 全日本F3選手権シリーズ 2位
SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 20位 | 2009 | NTCCUPシリーズ (Jr.MAX) シリーズ チャンピオン |
| 2014 | 全日本F3選手権シリーズ 2位 | 2008 | OpenMastersKart (KRP JUNIOR) シリーズ チャンピオン |
| 2013 | フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ チャンピオン
JAF地方選手権F4東日本シリーズ シリーズ チャンピオン | 2007 | モバラ 5StarCup (YAMAHA JUNIOR) シリーズ チャンピオン |
| 2012 | JAF地方選手権スーパーFJもてぎシリーズ チャンピオン | | |

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

ASAHI BEER
朝日 人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ J SPORTS

ドライバープロフィール ⑨

5 野尻 智紀
Tomoki Nojiri

DOCOMO TEAM DANDELION RACING

生年月日 1989年9月15日
出身地 茨城県



主な経歴

- | | |
|--|---|
| <p>2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 17位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 9位</p> <p>2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 9位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 15位</p> <p>2015 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 7位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 14位</p> <p>2014 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 10位
ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得
日本プロスポーツ大賞新人賞獲得
SUPER GT(GT300クラス) シリーズ 10位</p> | <p>2013 全日本F3選手権 シリーズ 4位</p> <p>2012 全日本F3選手権 シリーズ 5位</p> <p>2011 全日本F3選手権 Nクラス シリーズ 2位</p> <p>2010 フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ 5位</p> <p>2009 フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ 5位
F4西日本シリーズ 5位</p> <p>2008 鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)</p> <p>2007 世界選手権KF1参戦/ヨーロッパ選手権KF1参戦
イタリアンマスターズKF1参戦/ワールドカップKF1参戦</p> |
|--|---|

6 松下 信治
Nobuharu Matsushita

DOCOMO TEAM DANDELION RACING

生年月日 1993年10月13日
出身地 埼玉県



主な経歴

- 2017 FIAフォーミュラ2選手権 シリーズ 6位
- 2016 GP2シリーズ 11位
- 2015 GP2シリーズ 9位
- 2014 全日本F3選手権 チャンピオン
- 2013 全日本F3選手権 5位
- 2012 フォーミュラチャレンジ・ジャパン チャンピオン
- 2011 鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)
- 2010 全日本カート選手権Super-KF 3位
- 2009 全日本カート選手権KF17位

Series Partner



Series Supporter



Promotion Partner



Broadcasting Partner

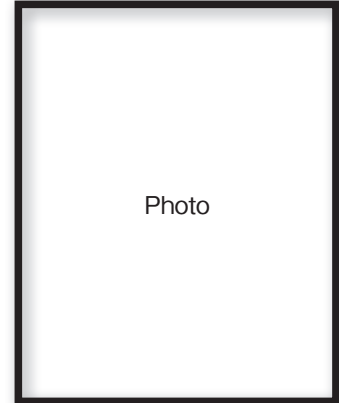


ドライバープロフィール ③

7 TBA

UOMO SUNOCO TEAM LEMANS

生年月日 TBA
出身地 TBA



主な経歴

TBA

8 大嶋 和也 Kazuya Oshima

UOMO SUNOCO TEAM LEMANS

生年月日 1987年4月30日
出身地 群馬県



主な経歴

2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 12位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 3位
2016 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 2位
ニュルブルクリンク24時間レース クラス優勝
2015 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 9位
ニュルブルクリンク24時間レース クラス優勝
2014 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 7位
ニュルブルクリンク24時間レース クラス優勝
ニュル耐久レースシリーズ クラス優勝

2013 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 5位
ニュルブルクリンク24時間レース クラス 2位
2012 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 7位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 10位
ニュルブルクリンク24時間レース クラス優勝
バンセン4時間耐久レース 総合優勝
2011 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 5位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 11位
2010 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 6位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 6位

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

ASAHI BEER
朝日 人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ J SPORTS

ドライバープロフィール ⑤

15 福住 仁嶺
Nirei Fukuzumi

TEAM MUGEN

生年月日 1997年1月24日

出身地 徳島県



主な経歴

- 2017 GP3 シリーズ3位
- 2016 GP3 シリーズ7位
- 2015 全日本F3選手権 4位
- 2014 フォーミュラ4 FCクラス チャンピオン
- 2013 全日本カート選手権 KF1シリーズ チャンピオン
鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)卒業
- 2012 鈴鹿選手権シリーズRMCシリーズチャンピオン、ARTAチャレンジシリーズチャンピオン
- 2011 鈴鹿選手権シリーズJ-RMC チャンピオン、ARTA Jr シリーズチャンピオン
- 2010 鈴鹿選手権シリーズJ-RMC チャンピオン

16 山本 尚貴
Naoki Yamamoto

TEAM MUGEN

生年月日 1988年7月11日

出身地 栃木県



主な経歴

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 9位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 7位 2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 7位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 14位 2015 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 5位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 3位 2014 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 9位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 4位 2013 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ チャンピオン
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 4位
日本プロスポーツ大賞功労賞獲得 | <ul style="list-style-type: none"> 2012 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 11位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 5位 2011 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 11位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 9位 2010 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 7位
ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 8位
日本プロスポーツ大賞新人賞獲得 2009 全日本F3選手権 Nクラス シリーズ チャンピオン 2008 全日本F3選手権 シリーズ 5位 2007 フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ 2位 |
|--|--|

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

ASAHI BEER
朝日 人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ **J SPORTS**

ドライバープロフィール ④

17 塚越 広大
Koudai Tsukakoshi

REAL RACING

生年月日 1986年11月20日
出身地 栃木県



主な経歴

- | | |
|---|---|
| <p>2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 15位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 10位</p> <p>2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 11位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 11位</p> <p>2015 全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ参戦
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 8位</p> <p>2014 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 11位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 12位</p> <p>2013 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 15位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 2位</p> | <p>2012 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 2位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 12位</p> <p>2011 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 4位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 4位</p> <p>2010 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 9位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 3位</p> <p>2009 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 7位
ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 5位</p> <p>2008 ユーロF3選手権参戦 シリーズ 6位</p> |
|---|---|

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

ASAHI BEER
朝日 人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ

J SPORTS

ドライバープロフィール ⑥

18 小林 可夢偉
Kamui Kobayashi

carrozzeria Team KCMG

生年月日 1986年9月13日

出身地 兵庫県



主な経歴

- | | |
|--|---|
| <p>2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 7位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 17位
FIA世界耐久選手権 シリーズ 5位</p> <p>2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 17位
FIA世界耐久選手権 シリーズ 3位</p> <p>2015 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 6位
ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得
日本プロスポーツ大賞新人賞獲得</p> <p>2014 F1世界選手権 (Caterham-Renault) シリーズ 22位</p> <p>2013 FIA世界耐久選手権 (LMGTE) シリーズ 7位
LMGTEマニファクチャラーズタイトル獲得</p> | <p>2012 F1世界選手権 (Sauber-Ferrari) シリーズ 12位</p> <p>2011 F1世界選手権 (Sauber-Ferrari) シリーズ 12位</p> <p>2010 F1世界選手権 (BMW Sauber-Ferrari) シリーズ 12位</p> <p>2009 F1世界選手権 (Toyota) シリーズ 18位
GP2アジア シリーズ チャンピオン
GP2 シリーズ 16位</p> <p>2008 F1世界選手権 (Toyota) サードドライバー
GP2アジア シリーズ 6位
GP2 シリーズ 16位</p> <p>2007 F3ユーロ シリーズ 4位</p> |
|--|---|

Series Partner



Series Supporter



Promotion Partner



Broadcasting Partner



ドライバープロフィール ⑦

19 関口 雄飛
Yuhi Sekiguchi

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL

生年月日 1987年12月29日
出身地 東京都



主な経歴

- | | |
|---|--|
| <p>2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 4位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 13位</p> <p>2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 3位
日本プロスポーツ大賞新人賞獲得
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 4位</p> <p>2015 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 11位</p> <p>2014 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 13位</p> <p>2013 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 12位
インタープロトシリーズ シリーズ 2位</p> <p>2012 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 6位</p> | <p>2011 全日本F3選手権 (Cクラス) シリーズ チャンピオン
SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 13位</p> <p>2010 全日本F3選手権 (Cクラス) シリーズ 2位
SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 9位</p> <p>2009 全日本F3選手権 (Nクラス) シリーズ 5位
SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 22位</p> <p>2008 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 37位</p> <p>2007 全日本F3選手権 シリーズ 7位
SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 10位</p> |
|---|--|

20 平川 亮
Ryo Hirakawa

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL

生年月日 1994年3月7日
出身地 広島県



主な経歴

- | | |
|---|--|
| <p>2017 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ チャンピオン</p> <p>2016 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 9位</p> <p>2015 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 8位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 5位
インタープロトシリーズ プロフェッショナルクラス シリーズ チャンピオン</p> <p>2014 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 8位
SUPER GT (GT500クラス) スポット参戦
インタープロトシリーズ プロフェッショナルクラス シリーズ チャンピオン
スーパー耐久 ST-1クラス シリーズ チャンピオン</p> | <p>2013 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 11位
インタープロトシリーズ シリーズ チャンピオン</p> <p>2012 全日本F3選手権 シリーズ チャンピオン
ボルシェ カレラカップ ジャパン シリーズ チャンピオン
フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ 2位</p> <p>2011 フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ 2位
F4西日本シリーズ チャンピオン</p> <p>2010 スーパーFJ岡山シリーズ チャンピオン
スーパーFJ日本一決定戦 優勝</p> |
|---|--|

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

ASAHI BEER
朝日 人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ J SPORTS

ドライバープロフィール ⑧

36 **中嶋 一貴**
Kazuki Nakajima

VANTELIN TEAM TOM'S

生年月日 1985年1月11日
出身地 愛知県



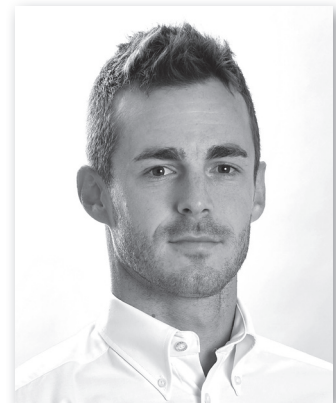
主な経歴

- | | |
|---|---|
| <p>2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 5位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 6位
FIA世界耐久選手権 シリーズ 2位</p> <p>2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 6位
FIA世界耐久選手権 シリーズ 8位</p> <p>2015 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 2位
FIA世界耐久選手権 シリーズ 7位</p> <p>2014 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ チャンピオン
日本プロスポーツ大賞功労賞獲得
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 5位
FIA世界耐久選手権 シリーズ 8位</p> | <p>2013 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ シリーズ 4位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 3位
FIA世界耐久選手権 シリーズ 12位</p> <p>2012 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ チャンピオン
日本プロスポーツ大賞功労賞獲得
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 7位
FIA世界耐久選手権 シリーズ 13位</p> <p>2011 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 2位
日本プロスポーツ大賞新人賞獲得
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 8位</p> <p>2009 F1世界選手権参戦 (AT&Tウィリアムズ) シリーズ 20位</p> |
|---|---|

37 **ジェームス・ロシター**
James Rossiter

VANTELIN TEAM TOM'S

生年月日 1983年8月25日
出身地 イギリス



主な経歴

- | | |
|--|---|
| <p>2017 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 5位
FIA世界耐久選手権 シリーズ 参戦</p> <p>2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 10位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 9位</p> <p>2015 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 12位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 7位</p> <p>2014 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 6位
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 3位
FIA世界耐久選手権 シリーズ LMP2クラス 参戦</p> | <p>2013 全日本選手権スーパーフォーミュラ スポット参戦 (Rd.1、7)
SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 3位
FIA世界耐久選手権 シリーズ LMP2クラス 参戦</p> <p>2012 Force India F1チーム開発&テストドライバー
FIA世界耐久選手権 シリーズ参戦</p> <p>2011 ロータス・開発&テストワークスドライバー
ル・マンシリーズ 参戦
ル・マン24 時間耐久レース 参戦</p> <p>2010 ロータス・開発&テストワークスドライバー</p> <p>2008 ホンダレーシングF1チーム開発&テストドライバー</p> |
|--|---|

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
◎日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

ASAHI BEER
朝日 人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ **J SPORTS**

ドライバープロフィール ⑩

50 TBA

B-Max Racing team

生年月日 TBA

出身地 TBA

Photo

主な経歴

TBA

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter



Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0


Asahi Beer

Broadcasting Partner

ドライバープロフィール ⑪

64 ナレイン・カーティケヤン
Narain Karthikeyan

TCS NAKAJIMA RACING

生年月日 1977年1月14日
出身地 インド



主な経歴

- | | |
|--|---|
| 2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 参戦 | 2006 A1GP(チーム インド)シリーズ 19位 |
| 2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 14位 | 2005 F1世界選手権(Jordan Grand Prix)シリーズ 18位 |
| 2015 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 11位 | 2004 ワールドシリーズ・バイ・ニッサン シリーズ 6位 |
| 2014 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 13位 | 2003 ワールドシリーズ・バイ・ニッサン シリーズ 4位 |
| 2013 AUTO GP シリーズ 4位 | 2002 ワールドシリーズ・バイ・ニッサン シリーズ 9位 |
| 2012 F1世界選手権(HRT F1 Team)シリーズ 24位 | 2001 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 14位 |
| 2011 F1世界選手権(HRT F1 Team)シリーズ 26位 | 2000 イギリスF3 シリーズ 4位 |
| 2010 スーパーリーグ フォーミュラ(PSV Eindhoven)シリーズ 16位 | 1999 イギリスF3 シリーズ 6位 |
| 2008 A1GP(チーム インド)シリーズ 12位 | 1998 イギリスF3 シリーズ 12位 |
| 2007 A1GP(チーム インド)シリーズ 10位 | |

65 伊沢 拓也
Takuya Izawa

TCS NAKAJIMA RACING

生年月日 1984年6月1日
出身地 東京都



主な経歴

- | | |
|--|---|
| 2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 13位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 7位 | 2013 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 7位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 10位 |
| 2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 16位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 14位 | 2012 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 3位
SUPER GT(GT500クラス1) シリーズ 5位 |
| 2015 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 13位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 3位 | 2011 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 9位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 9位 |
| 2014 GP2 シリーズ 18位
全日本選手権スーパーフォーミュラ スポット参戦(Rd.6~)
SUPER GT(GT500クラス) スポット参戦(Rd.8)シリーズ 18位 | 2010 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 11位
SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 8位 |
| | 2009 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 8位 |

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
◎日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

ASAHI BEER
朝日 人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ J SPORTS

プロモーション施策

■ プロモーション施策

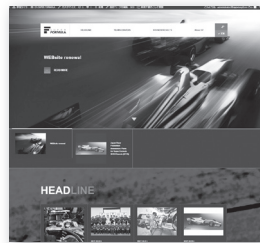
世界一スポーツとしてのレースを目指し、年間動員数30万人を目標と致しました。この目標達成のため、今年をスタート年とした3か年の方針を設定し、それぞれの施策を展開して参ります。

① 「新たなファン層へのアピール強化」

公式ホームページのデザインを一新し、スマートフォンへの対応を強化、“見やすく、キャッチーで、スムーズなコンテンツ”をご提供して参ります。

また、Live Timingアプリのアクセス対応を強化、加えてニュース部分を充実し、会場内外のファンに安心して使ってもらえる体制を整え、観戦満足度アップに努めて参ります。

さらに、今年も各大会会場ではエンジョイホンダ、TGRブース、二輪レース、そして最終戦鈴鹿ではWTCRが開催されます。こうした様々なイベントやレースとの連携をより一層強めそれぞれのお客様へ積極的にアピールして参ります。



公式ホームページ



ライブタイミングアプリ

② 「大会会場周辺のPRイベント企画」

大会への動員に繋げてゆくために、サーキット近隣の自治体、関連企業との連携イベント開催を企画して参ります。

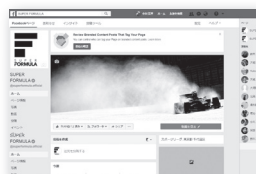
昨年も実施した厚木市との共同イベントは、モータースポーツを含む自動車関連情報に共感性が高い厚木市民の存在、および富士スピードウェイ近郊での開催ということで、ご来場者の数・評価とも良い手応えを得ることができました。今年も6月に実施予定です。



③ 「メディアの活用強化、海外へのアピール推進」

昨年からスタートした、無料全国放送のBSフジでの「決勝レース全戦中継」、内容をグレードアップし、大会前の土曜23時の放送となった「スーパーフォーミュラGO ON!」の2番組により、視聴可能世帯4000万世帯の中での一般視聴者の認知機会は確実に増加いたしました。そして今シーズンの初戦・鈴鹿大会の決勝300kmレースは、当日18時からの“開幕特番”としてダイレイ放送致します。このゴールデンタイムの放送により、さらなる一般視聴者の認知アップが期待されます。

また、SNS(Twitter、Facebook)やYoutubeなどのプラットフォーム上で発信する、様々なネタやニュースを充実させるため、新たな動画コンテンツを制作して参ります。その他、海外への情報発信として、昨年からの提携を始めたmotorsport.com(配信)、motorsport.tv(ペイTV)のさらなる拡充を図って参ります。



Facebook



Twitter



motorsport.com

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

ASAHI BEER
人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ J SPORTS

TV放送

TV放送

■BSフジ『2018スーパーフォーミュラ中継』

放送時間:決勝日 日曜14:00~15:55

第1戦は、「開幕特番」 4月22日(日)18:00~19:55ゴールデンタイムに放送。

無料全国放送のBSフジの視聴可能世帯数は4000万世帯を超え、全国の7割以上をカバー。新しいモータースポーツファン層の開拓について、大いに期待されます。

2017年に続き、今年も「全日本スーパーフォーミュラ選手権」シリーズ全7戦の決勝を放送！激戦が繰り広げられた2017年のレース覇者である石浦宏明は連覇できるか！？

シリーズタイトルの栄冠はいったい誰の手に？今年も音速バトルから目が離せない！

実況はピエール北川による場内実況がサーキットの臨場感をそのまま伝え、ピットの緊迫とした状況をレーシングドライバー松田次生と、東(ひがし)美樹がピットレポートを行います。

今シーズンは、解説者に鈴木亜久里、古賀敬介(モータージャーナリスト)を迎え、大会ごとに担当していただき、鋭くまたわかりやすく解説をします。

○放送予定

・ Rd.1 鈴鹿サーキット	4月22日	18時~19時55分
・ Rd.2 オートポリス	5月13日	14時~15時55分
・ Rd.3 スポーツランドSUGO	5月27日	14時~15時55分(予定)
・ Rd.4 富士スピードウェイ	7月 8日	14時~15時55分(予定)
・ Rd.5 ツインリンクもてぎ	8月19日	14時~15時55分(予定)
・ Rd.6 岡山国際サーキット	9月 9日	14時~15時55分(予定)
・ Rd.7 鈴鹿サーキット	10月28日	14時~15時55分(予定)

■BSフジ『スーパーフォーミュラGO ON!』

今シーズンから、「スーパーフォーミュラ」の情報を完全網羅する情報番組としてリニューアル。SF14ラストイヤー、全戦2スベックタイヤ制など話題が豊富な2018シーズンのレースダイジェストをレギュラーコメンテーターの小林可夢偉とゲスト解説の松田次生がレースを分析。また、ゲストコメンテーターとして登場する現役ドライバーやチーム関係者、レース好きの著名人などと共にホットなニュースを深掘りする。

番組に華を添えるのは、進行を担当する本田朋子アナ。

ナレーターは今年で番組3年目となる乃木坂46の樋口日奈が担当します。

○放送予定

55分番組として各大会前に7回の放送と、シリーズ終了後の総集編1回の放送の計8回を放送。

初回は4月7日(土)23時00分~23時55分放送。

■J SPORTS

全7戦の予選と決勝の様様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組も放送します。

※放送スケジュールについては、「J SPORTSモータースポーツ」内の「スーパーフォーミュラ」ページか、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」でご確認ください。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
◎日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

人 気 酒 造
NINKI-UCHI

Broadcasting Partner

BSフジ **J SPORTS**

映像配信／海外配信・放送／インターネット SNS

映像配信

■ Yahoo! GYAO!

大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。
※配信日時は変更となる場合があります。

<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>

■ YouTube

予選ならびに決勝の競技映像をダイジェスト版にて当日夜配信。

※配信日時は変更となる場合があります。詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」でご確認ください。

superformulavideo-YouTube

<https://www.youtube.com/user/superformulavideo>

海外配信／放送

■ motorsport.com(配信)

■ motorsport.tv(放送)

インターネット／SNS

■ オフィシャルWEBサイト

<http://superformula.net>

■ 公式LiveTimingアプリ

i OS,Android対応無料ライブタイミングアプリ「SUPERFORMULA」で検索

■ オフィシャルfacebook

<https://www.facebook.com/superformula.official>

※公式ハッシュタグ「#sformula」

■ オフィシャルTwitter

https://twitter.com/super_formula

※公式ハッシュタグ「#sformula」

プロモーションサポーター陣

■中継解説・実況



TV解説者
鈴木 亜久里
Aguri Suzuki

1986年に全日本ツーリングカー選手権チャンピオン、1988年に全日本F3000選手権チャンピオンを獲得した後、F1世界選手権デビューを果たし、1990年にF1世界選手権日本グランプリにおいて日本人初の3位の快挙を成し遂げる。その後、"ARTA Project"を発足するなど若手育成に努めるとともに、インディカーシリーズ、F1世界選手権、SUPER GT、最高峰電気自動車レースFormula Eなど、世界の主だったレースカテゴリーで自身のチームを立ち上げ参戦している。これまで培ってきた、ドライバー、監督、チームオーナーの各目線で、今シーズンのスーパーフォーミュラを読み解きます。



TV解説者
古賀 敬介
Keisuke Koga

大学卒業後、モータースポーツ専門誌の編集部員として活動。その後、フリーランスのジャーナリスト/フォトグラファーとして、WRC、パリ-ダカールをはじめとするラリーや、インディ500、CART、NASCARなどのアメリカンレースなど海外での取材を重ねるほか、スーパーGT、フォーミュラ・ニッポン、スーパーフォーミュラなどの国内レースにおいても積極的に取材を行う。今シーズン、その国内以外のレース取材を通じて蓄積した様々な情報をもとに、一歩踏み込んだわかりやすい解説を行います。



オフィシャルコメンテーター
ピエール 北川
Pierre Kitagawa

レースの状況や場内の興奮、バトルの迫力を臨場感あふれる熱い語り口で伝えてくれる名アナウンサー。2014年からスーパーフォーミュラの全戦で場内実況アナウンサーを務め、JRP主催のトークショーなどの司会進行も担当。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ

J SPORTS

プロモーションサポーター陣

■中継レポーター



中継レポーター
松田 次生
Tsugio Matsuda

フォーミュラ・ニッポンから続く21年の歴史の中で唯一、07年08年と連続チャンピオンを獲得。SUPER GTレースでチャンピオンを争う現役最強ドライバーが今シーズンも、レース中継のビットリポートと「スーパーフォーミュラGO ON!」を担当します。現役ならではの、鋭くわかりやすい解説が好評です。



中継レポーター
東 美樹
Miki Higashi

日本テレビ「ZIP!」やWOWOW「ぶらすと」、BS日テレ「旅してHappy」などテレビ出演に多くの経験を持ち、ロンドン留学の経験を活かして語学も堪能、ダイビング、乗馬、ヨガ、ボルダリングなど多趣味な彼女が、レース中継でのビットリポートを縦横無尽に展開。さらにオフィシャルステージMCにも挑戦します！

■ステージ解説・MC



TECHNOLOGY LABO.主筆
両角 岳彦
Takehiko Morozumi

公式ウェブ「TECHNOLOGY LABORATORY」主筆、及びステージイベント「テクラボ」メイン解説者。「エンジニアたちの作戦計画」では、毎回エンジニアたちの見えない戦いを浮き彫りにします。「SF14」「タイヤ」「エンジン」「空力」など自動車評論家としての独自目線で深掘りし、レースの真髄を解き明かします。



オフィシャルステージMC
水村 リア
Leah Mizumura

スーパーフォーミュラ・オフィシャルステージで、毎戦様々なトークショーやイベントの司会進行を担当。得意の英語力を活かし外国人ドライバーとのトークもこなせば、テクノロジーラボラトリーからレースクイーンオンステージまで、硬軟すべての場面で持ち前のバイタリティーを発揮し会場を盛り上げます。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

ENKEI
人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ

J SPORTS

プロモーションサポーター陣

■「スーパーフォーミュラGOON!」出演者



進行
本田 朋子
Tomoko Honda

元フジテレビアナウンサー。現在はフリーとなり多方面で活躍中。スポーツ番組やバラエティ番組を数多く担当。スーパーフォーミュラGOON!の進行役を務める。



レギュラーコメンテーター
小林 可夢偉
Kamui Kobayashi

今年、carrozzeria Team KCMGから参戦。様々なレースに参戦しレーシングドライバーの視点から、レギュラーコメンテーターとして番組を盛り上げます。



ゲスト解説
松田 次生
Tsugio Matsuda

スーパーフォーミュラの中継レポーターとして現場にて集めた情報をもとに解説する。「あの時何が起きていたか」をリアル感たっぷりにお届けします。



ナレーター
樋口 日奈(乃木坂46)
Hina Higuchi

番組にかかわるのは今年3年目となる。「スーパーフォーミュラ」を完全網羅する情報番組としてリニューアルする中、ナレーションを担当します。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ J SPORTS

社会貢献活動

■社会貢献活動

①「日本赤十字社とのタイアップ」

JRPでは、2014年から積極的に日本赤十字社との取り組みを展開しています。毎年、5月8日の世界赤十字デーに合わせ行われる「赤十字運動月間」にあたるオートボリス大会では、チャリティーオークションを開催。オークションでお預かりした義援金の全額は日本赤十字社を通じて熊本地震などの被災地に届けられます。各サーキットにおいては、選手、監督らによる応援メッセージを放映するなど様々な活動を行なっています。



わたしたちは日本赤十字社の活動を支援しています。

②「がんばろう！九州」

2016年に発生した熊本地震により、甚大な被害にあわれた九州地方の皆様に向けて、レース各カテゴリーのプロモーター、サーキットなど国内モータースポーツ界の主要団体・施設が共同で支援活動をおこなっています。活動の意思表示として「がんばろう！九州」のステッカーを作成し、車両コクピットとドライバーヘルメットバイザーに提示しています。



③「小学校訪問授業の継続」

2011年の東日本大震災の復興応援として開催してきた「スマイル・キッズ at みやぎ」も本年で7年目となります。これまで仙台市を中心とした小学校12校を訪問、延べ1,757名の子どもたちに小学校5年生社会科授業「工業製品」や、仙台市がすすめる「自分づくり教育」とも連携し、日本の自動車産業全体や、なかでもレース活動を通じて職業意識やチームワークの重要性を学んでもらう授業を展開してまいりました。

2015年からはスーパーフォーミュラ開催中のスポーツランドSUGOへ招待。コントロールタワーやタイヤガレージ、車検場、チームピットなど様々な施設の見学も行っています。



Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

ENKEI
人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ **J SPORTS**

ABOUT SUPER FORMULA

1950年代にFIA国際自動車連盟は「ドライバーズチャンピオンシップは純然たるレーシングマシンであるフォーミュラカーによって競われる」と発表し、FIA加盟各国はその精神を継承していった。

日本においては 1973 年に始まる全日本 F2000 選手権、1978 年から全日本F2 選手権、1987 年から全日本 F3000 選手権と変遷を繰り返しながらもトップフォーミュラでのチャンピオンシップが開催され、1995 年に株式会社日本レースプロモーション(JRP)の発足により翌年から全日本選手権フォーミュラ・ニッポンとして装いを新たにスタートした。

2010 年に白井裕が社長に就任すると、2013 年より全日本選手権スーパーフォーミュラと名称を変更。「日本からアジアへ」、「F1、インディ、そして自身を第3極」として位置付けることを明確化し、ハード、ソフトの両面で斬新な改革を行った。(2016 年シーズンより全日本スーパーフォーミュラ選手権と名称変更)。

2016年から倉下明が社長に就任。2017年から無料全国放送のBSフジでスーパーフォーミュラ決勝レース生中継を開始、これにより多くのモータースポーツファンが生でレースをTV観戦できる環境が整った。



日本でのフォーミュラレースは、その初期においては高橋国光、星野一義、そしてその後F1へ参戦することになる中嶋悟らが黎明期を牽引。全日本F3000選手権時代にはミハエル・シューマッハーが、フォーミュラ・ニッポンからはラルフ・シューマッハー、エディ・アーバイン、高木虎之介らが活躍。F1 を目指す猛者たちがこぞって参戦した。



中嶋 悟



ミハエル・シューマッハー



エディ・アーバイン

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
◎日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

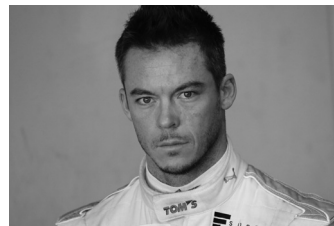
ASAHI BEER
人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ **J SPORTS**

ABOUT SUPER FORMULA

近年では、FIA世界耐久選手権(WEC)チャンピオンのアンドレ・ロツテラーをはじめ、ブノワ・トレルイエ、ロイック・デュバル、中嶋一貴らが参戦し全日本選手権タイトルを獲得。2015年には前年までF1に参戦していた小林可夢偉が凱旋参戦を果たし、観衆を魅了している。2016年には前年のGP2チャンピオンのストフェル・バンドーン、翌2017年にも前年のGP2チャンピオンであるピエール・ガスリーが参戦。両者ともF1世界選手権へのフル参戦を果たし、世界のトップドライバーを目指すドライバーとしての地位を確立しつつある。



アンドレ・ロツテラー



中嶋一貴



小林可夢偉



ストフェル・バンドーン



ピエール・ガスリー

ハード面では、イタリア ダラーラ社製のSF14を採用。エンジンは2リッター直列4気筒直噴ターボエンジン(NREエンジン)がホンダ、トヨタにより供給され、継続的に燃焼効率の改善や出力の向上など様々な技術改良が図られている。そして2016年からは、トップフォーミュラへの参戦が約20年ぶりとなった横浜ゴムがADVANレーシングタイヤのワンメイク供給を開始。安全性能、競技性能のみならず、今シーズンからは全戦で1レース2スペックタイヤ制の導入など、エンターテインメント性も考慮した開発を行っている。

エンジンを除くと基本的にはワンメイクレースであり、それゆえに予選はほぼ全車が1秒以内という驚異的な次元で争われる純粋なドライバーズ選手権であり、エンジニアリングレースでもある。

またシリーズは鈴鹿サーキットや富士スピードウェイ、ツインリンクもてぎと言った世界選手権を開催するサーキットで行われるのはもちろんのこと、一瞬のミスも許されない緊張感があることから外国人ドライバーに評価の高いSUGO、岡山国際、オートポリスといったいわゆるオールドスタイルコースでも開催され、よりコンペティティブなレースを生み出している。



なお、2014年に「クイック・アンド・ライト」をコンセプトに導入されたSF14は、2018年シーズンをもって終了し、2019年からはSF14のコンセプトを継承しつつ、より高い安全基準に対応したSF19の導入を予定している。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
◎日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

DAIICHI
人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ J SPORTS

シリーズパートナー / シリーズサポーター / プロモーションパートナー

Series Partner

HONDA

本田技研工業株式会社

<http://www.honda.co.jp/>

TOYOTA

トヨタ自動車株式会社

<http://www.toyota.co.jp/>

Series Supporter



横浜ゴム株式会社

<http://www.yrc.co.jp/>

Promotion Partner

HITACHI

日立オートモティブシステムズ株式会社

<http://www.hitachi-automotive.co.jp/>

SONY

RX0

ソニー株式会社

<https://www.sony.jp/cyber-shot/RX0>



人気酒造株式会社

<http://www.ninki.co.jp/>

Broadcasting Partner



株式会社BSフジ

<http://www.bsfuji.tv/>



株式会社ジェイ・スポーツ

<http://www.jsports.co.jp/>

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter



Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0



Broadcasting Partner



本リリースに関するお問い合わせ

株式会社日本レースプロモーション

〒102-0074

東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル3F

TEL: 03-3237-0131 FAX: 03-3237-0135

<http://www.superformula.net/>

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
◎日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

**ASAHI BEER**
人気酒造

Broadcasting Partner

**BS FBS** **J SPORTS**